

(一)
元治二乙丑年日記
□慶下改元

正月七日 昼後三国へ行き名村へ着年玉 酒札式升 菓子箱一

代拾四匁 代七匁斗り

たら老疋 大かれ二枚ノ三品 家来共四人へ式匁ツ、八匁

代拾四匁五分

右「」 前源太郎来ル、名村ニ三国万寿十もらひ

右同日 □夕飯後嶋加藤へ行き泊り、年玉三匁、下女へ式匁

八日 朝嶋加藤を出上田へ礼ニ行、拾匁之菓子箱一持参

上田留主家内へ渡ス、夫ニ伊藤へ年礼ニ行、万寿札

廿、但十匁万寿十札式枚伊藤へ持参、晚方名村へ行き泊り

九日 昼後帰村

十日 野中小嶋江年礼ニ行、年玉 酒式升 塩はまち一

代拾四匁 代廿四匁

同所家内へ拾匁万寿十札式枚遣候、ノ三品、家来共八人へ式匁ツ、

十六匁

(二)

十一日 小嶋ニ滞留、十二日昼時帰村着

十三日 出府、上下三右衛門持呉候、同人同道ニ而鯖江川嶋屋ニ泊り

十四日 早天出府、種屋へ着、御上御見廻り、同日家中廻勤

松村半兵衛ト大谷左平次

十九日 小嶋五左衛門おはる同道下女老人・下男老人来り、先方ニ

ほうだら二本・万寿廿五・三国万寿ノ三品到来

廿一日 昼過迄五左衛門滞留、昼過夕帰村

廿六日 嶋次郎福井江輪違迄菜種取ニ行、昼後帰村

廿八日 □朝御講自分参り善六

二月朔日 波寄村市郎右衛門昼後來り、三国万寿十到来、同日引取り

同五日 出福、天弥へ払致し同所ニ而馳走ニ成夕方谷安ニ参り茶漬斗り

谷安ニ致し泊り

六日 朝飯後谷安ニ御坊所へ参詣、夫ニ御屋敷本多へ行

村松へ行、御上江御目通り致し長□御土産風呂敷一

ゑり一被下、村松ニ而昼飯致し又谷安ニ帰り畑ニ面会

夕方遅ク帰村

八日 「」ニ中村へ酒取ニ遣し、藤わし塚小嶋へ病人□急□□□□□□

「」 昼前帰村、たちん式匁五分渡ス

夜分嘉兵衛并二千代蔵兩人・三右衛門ノ三人御祝よび三右衛門より

万寿札式匁到来

十日 源太郎出福、お春米沢わた入トつむぎしまわたノメニ天井弥助ニ取来ル

十二日 三国加藤・伊藤両家江仲人礼ニ行銀百匁ツ、両右江礼致ス

A005201419

同日三国の直ニ出福谷安へ着右之一件埒合致ス、谷安ニ而酒宿代
現銀も有清三郎の取り候□有

九日 小嶋胴突ニ付人足廿人斗二日市の頼度旨申ニ付早天より

(三)

嘉兵衛 助右衛門 善六 平次郎 仁兵衛 利吉 勘助 栄吉
八左衛門 次助 多左衛門 栄助 藤左衛門 善右衛門 長次郎 市之助
べ十六人 早朝より差遣候処、雨天ニ付止メルト申途中迄被相知小森より

人足共は帰り

四日 少シ遅ク相成人足二人条右衛門・五郎作相つれ自分三人連ニ而罷出候処
右十六人人足卜道違ひ不□□□、野中迄参り候処、止ル様申ニ付小嶋ニ而
三人共昼飯致し人足二人は前ニ帰り自分は夕方帰村

万寿札五匁小嶋江持参、一森茶一袋小嶋のもらひ申候

廿二日 早天の野中・小嶋胴突人足遣ス、喜兵衛・助右衛門・善六・平次郎

「一」・利吉・勘助・栄吉・八左衛門・次助・多左衛門・栄助

藤左衛門・善右衛門・長次郎・市之助・条右衛門

十七人行、是は先度も出かけ帰り候者共

右之上ニ嘉左衛門・平太夫悴平十郎・源左衛門二口べ廿人

廿六日 三国加藤方江名村一件ニ付行、夕方遅ニ帰村

小児春吉病死の手紙村松の来り

廿七日 夜十助方江よばれ相客ニ右衛門・遣三郎

廿八日 おさと連レ出福谷安ニ泊り、但兩人夕飯の泊り、同日酒肴払不致

但肴はたこ一はい・かれ老枚・豆腐老丁、豆腐はかもとたき

廿九日 「一」式枚酒の肴右谷安ニ而かり、同日喜兵衛迎ニ参り喜兵衛も

谷安ニ而昼飯たへ、三人昼飯後帰村

三月一日 朝府中配府着、来ル五日朝五ツ時御用儀有之候条

麻上下持参ニ而、其齊無遅滞可被罷出候、為其急度

申遣者也、追而四日夕迄下宿着有之拙宅迄着届可有之候

三月二日 まから杉右衛門・二日市嘉兵衛・利右衛門

三月三日 昼後森田寺年頭参り鷲塚嘉右衛門へ立寄

夕方帰村、嘉右衛門留守ニ而不面会

四日 嘉兵衛□頼不快達致し府中不参

(四)

六日 お春小嶋江帰り自分送り行、供多左衛門・下女くミ三人同道、夕方帰村
但喜兵衛ふ快ニ付多左衛門をやとひ連行

七日 源太郎 殿様御着拜見ニ行

九日 七十年一、廿五年二、年回当年相当り候ニ付、引上ケ御経御願申

森田寺御新発意井内役僧兩人来臨、大経上巻三度

上被下布施三べ銀七拾匁、役僧江三篇べ三拾匁差上ケ

迎人足亀次郎、送り人足勘助

十一日 御坊所御追夜参り、牧安へ立寄昼飯、但かれ老枚茶漬斗り

□も呑ミ申候、昼後帰村、牧安此度初而銀五匁年玉遣ス
「」肴別ニなし

十二日 豆木打豆三斗式升五合有手替ニ而同日物苗まき、喜兵衛

十四日 昼後野中小嶋江日かさ壺本・もち五ツ其外色々被持喜兵衛遣ス

十五日 母三国加藤江駕ニ而行キ人足勘助・利吉

小豆式升・沢庵□り一重・十匁万寿札式十持参

十六日 三国出村かじや次郎吉殿嶋加藤におさと貫ひ度旨申来り

菓子箱一ツ・万寿十持参ニ而来り、昼後引取り

廿一日 太郎丸新左衛門代替りニ付行キ昼後行泊り

銀拾匁卜酒札壺升持参、同日夜新十郎へ行泊り

「」匁新十郎江菓子料持参

廿二日 朝飯後新左衛門へ行昼寝起喜兵衛迎ニ来り

但野中小嶋利兵衛来候ニ付早々帰村、ようかん五匁斗り

母へ土産、菓子袋五匁斗およき江、銀三匁ツ、喜兵衛卜

おせつと兩人江、くミは不快ニ而内へ引居候間無

廿三日 昼後小嶋利兵衛帰り

廿四日 波寄市郎右衛門名村一件ニ来り、同日麻蒔

廿五日 夜分迎ニ畑又左衛門来り泊り、但殺生ニ来り

廿六日 朝畑又左衛門引取り

(五)

廿□日 与兵衛葬式森田御院主御着、坊主式人上下八人夫方。

与兵衛方他所一家二十壺人々三十壺人此方ニ而まかなひ、味噌・薪
此方へ遣ス

廿九日 苗代三右衛門卜替地棹入、昼後平次郎を頼致ス

廿八日 およき・おきよ・□女政・供くミ々四人除痘ニ行、大工藤兵衛へ行

泊り、大工藤兵衛銀拾匁・白さと箱一持行

廿九日 夕方帰村、今日除痘日

四月三日 出福、谷安ニ而休ミ、酒代三匁遣ス、外ニ式匁過銀不取、鯉の味噌漬一切

「」の吸物二品ニ而酒呑、戻りニ茶漬一はい致し帰り夕方帰村

四月「」三国江佐太郎喜兵衛ニ被負除痘ニ行キ嶋加藤へ着

夫へ野中江普請見廻遣ス、酒五升代三拾五匁池の上ニ而求メ

大かれ式拾枚代三拾式匁たな五郎ニ而求ム銀六拾七匁小嶋普請見舞

自分嶋加藤ニ居り右二品喜兵衛を以遣ス、喜兵衛三国へ帰り五左衛門へ自分

示談致度儀有之候趣申ニ付自分野中へ行、佐太郎・喜兵衛遅ク帰村

六日 除痘種取におよき・お政・下女くミ三人出福、与力町

大工藤兵衛方へ行キ、但およきおばなり除痘仮名

おきよハ桑野嘉五吉娘、お政は狛帯刀殿内松山佐左衛門娘

おきよは風邪ニ付不参、医学所除痘大込ニ付家中

□□致し申候右二軒とも大工藤兵衛一家なり

大工藤兵衛家内へ中かれ式枚およきもらひ取帰り

松山佐左衛門へ小串焼小魚五串もらひ申候

同日帰村

十日 佐太郎、喜兵衛ト三国除痘水取ニ行野中へ寄晩方帰村

三国除痘礼拾匁鳴加藤へ喜兵衛の渡ス

福井円覚寺御本山上り廻僧泊り

銀百匁御門主様江上納銀円覚寺へ渡ス

十一日 円覚寺朝帰り小らうそく式匁同僧のもらひ

(六)

十二日 出福、谷安へ着夕方帰村 但谷安ニ而酒代四匁・あんもち壱匁五分

六匁わかめニ・着いわし代鏡やニ而右現銀渡候

谷安ニ而昼香物ニ菜漬一飯 はまち□□壺杯 そば一ツ此分かり余は皆払

十六日 名村一件ニ付波寄市郎右衛門方へ行候処、同人留主

ニ付猪左衛門方へ行委細晰し同所ニ而馳走ニ逢中飯致シ

夫の同村ニ新保専久寺御座参り致し晩方帰村

猪左衛門へ万寿札三匁遣ひ申候

十七日 晩方太郎丸へ行夫の千歩寺永代経参り夜分帰村

廿日 亀次郎三国申祭ニ行泊り

廿二日 小嶋家内舍弟豊太郎・お春同道帰村、先方両人は

一宿泊り廿三日昼後引取り送り、仙太郎・権七は日帰り

下女とよは泊り

同日 太郎丸新左衛門嫁初而よび新十郎お内ニも同道ニ而来り

外ニ式「 是は母江

先方新左衛門の銀拾匁「 式升・三国十匁万寿十八品新左衛門の

新十郎の酒札壺升新左衛門□此方家来喜兵衛・くミ兩人江三匁ツ、

太郎丸兩人・新十郎うば三人同日晩方帰村致ス

廿四日 府中御講山仁右衛門方ニおゐて会合、自分出福

夫の村松へ寄、谷安へ寄酒飯共不食帰りかけ

□野崎湯屋へ寄、畑谷安家内兩人居り

□呑湯一ばひ這べり帰村、夕方清兵衛へ立寄

清兵衛ニ而酒呑遅□帰宅

廿九日 鷺塚嘉右衛門方へ行昼飯たべ夕方帰村

三国十匁万寿札式十持参

晦日 昼時前三国出村かじや次郎吉殿加藤のおさと貫一件

来り、三国万寿十・わかめ二三は斗り土産もらひ申候

□月四日 源太郎同道出福、昼飯の牧安ニ泊り同日夜谷安へ行

谷安ニ而そば六ツ夜分取寄せ源太郎・自分・谷安かゝ

三人してたべ夫の牧安へ行泊り、谷安へそば払不致

五日 朝飯後の村松へ源太郎同道ニ而行キ昼後桜馬場江

(七)

ダキウ見ニ行キ村松ニ泊り

□日 朝村松喜十郎儀自分ト兄弟之契り結度旨申候ニ付

此年自 盃取かわせ致し申候、已後兄弟、自分八年長たれば
分年 兄となり申候様申候、酒の肴ヤキ鯛ニ而酒呑、此方も
五十才 表書勝尾として三国山岸屋酒札式升遣ひ申候

同日昼後村松を出牧安へ寄晩方帰村

九日 喜兵衛を以米善方へ菓子箱一ツ手紙相添遣し申候
与力町大工藤兵衛方へも上豆式升五合遣し申候

十日 板垣猪兵衛忝来り泊り、土産酒札壹升・白さと箱一ツ
□餅式匁三品到来、同与三右衛門の万寿札五匁到来

十一日 昼前板垣帰り

十七日 昼後高屋平兵衛へおよき怪我直シニ頼候礼ニ行銀五匁
持行、夫の惣五右衛門方へ行広瀬坊主約束一件行

晩方帰村

十八日 出福 米善へ立寄昼酒飯馳走ニ相成同日晩帰村

但村松并府中屋敷三村対兵衛へも一寸立寄候

十七日 昼後の少シ苗取ニかゝり

十八日 平次郎・藤右衛門兩人渡し田植

十九日 「」同断晩高屋久兵衛へ広瀬広徳寺御座参り平次郎迎

廿日 「」代仕廻

廿二日 三国へ行出村牧や次郎吉方へ行馳走ニ相成夫の

嶋加藤へ行泊り、牧や江万寿札七匁五分・松風式匁持参

廿三日 昼後帰村

廿五日 むら松隠居来り、昼後わし塚嘉右衛門来り

昼後そば切り晩方兩人引取り

むら松隠居の茶式匁もらひ申候

廿八日 源太郎同道昼後出福夕方帰村

閏月五日 太郎丸新左衛門へ源太郎同道ニ而行、源太郎は新左衛門ニ而

(八)

夕飯たべ自分は新十郎ニ而夕飯たへ源太郎は同日帰村

自分は夕方千步寺江法事参り致し新十郎江帰り

泊り六日昼後帰村、万寿札式匁新十郎へ、万寿札三匁

新十郎へ持参

八日 昼後の仙太郎連レ出福 牧安ニ泊り米善片岡畑へ行キ

片岡江万寿札五匁持参、法状ニ状返済、主人留守ニ付

御家内へ相渡ス、米善江麦壹升遣ス、牧安へも麦壹升とらせ

九日 牧安ニ泊り

十日 昼後帰村

十三日 喜大夫供ニ而丸岡江御遠忌参り、小原へ着泊り

酒札式升・鯛壹枚・大さば一・小菓子 小供江

代拾四匁 代拾三匁

三匁

ズ三品小原江

夜分後藤利兵衛方へ行金平糖代拾式匁持参、後藤酒出馳走成

- 夜分小原へ帰り、但「」ト兩人
- 日 昼後小原の帰村、但喜太夫連レ
- 十八日 朝出福、米善へ行昼飯たべ牧安へ行休ミ、牧安ニ而酒指身一品
いか十ばい代牧安ニ而かり昼後喜兵衛迎ニ来り同道帰村
- 六月五日 村用山室ト懸合浜橋杭老件ニ付三右衛門同道出福
牧安ニ泊り今村次郎兵衛ト居合セ同日片岡へ行
- 六日 夫の兩人牧安ニ泊り夕方今村次郎兵衛ト自分・お梅三人
谷安ニ行、雨鯛老枚・いり身一ばひ・ところてんと三品此割
今村次郎兵衛ト二ツ割、同日三右衛門同道片岡へ行キ同所は拾五菓子遣ス
- 七日 昼後三右衛門同道ニ而帰村
- 十六日 祭礼ニ付太郎丸新左衛門（一人）・新十郎（控連来り）兩人来り、兩人酒札
老升ツ、到来、鷲塚嘉右衛門来り、菓子老斗子共江到来
右四人共晩方帰村
- 十七日 昼時村松隠居来り、鹿菓子箱一母へ到来
- (九)
- 十八日 村松隠居同道昼時のわし塚嘉右衛門方へ行晩方帰り
村松はわし塚ニ泊り
- 廿四日 昼後田中専妙寺同道岸水次郎右衛門方へ行馳走ニ成
夕方帰村
- 晦日 岸水村次郎右衛門門柱石之事ニ来り、夕方帰り
府中福井屋敷の御目通り差紙来り
- 七月朔日 早天出福、福井御上屋敷ニ而御前御目通り致し候
金百疋として銀三拾七匁五分御上の被下旧冬浪人騒キ
「」二ツ屋御本陣御見廻之御礼なり
- 岸水次郎右衛門紙すき願之儀ニ付牧安へ尋来り
二人牧安ニ泊り、府中屋敷三村対兵衛へ願込并ニ
村松隠居ニも頼ミ込肴拾老匁五分次郎右衛門の村松へ
持参
- 朝牧安へ村松隠居来り、酒出し昼後の
- 次郎右衛門同道橋迎北の屋小太郎方へ行キ晩方迄
酒ニよばれ夕方方京とめへ行岸水次郎右衛門ト自分
外ニ幻妻老人連レ自分泊り、次郎右衛門は北の屋へ泊り
- 三日 朝京とめ払致し牧安ニ帰り朝飯致し昼飯後
帰村
- 四日 福井茶屋次郎兵衛来り泊り、黒さと壱斤持来り
- 五日 朝飯後茶次郎帰福
昼後三右衛門兵衛銀かりニ遣ス
- 六日 村松へ金三十両ト銀貳貫五百匁かし持参、晩方帰村
- 七日 村森庄や三右衛門方へ昼後行夕方帰り
- 十日 昼後森田寺江永代経芳盆参り、銀五匁盆参り奥方江
式匁御経上ケ役僧江式匁口、夕方帰村

(一〇)

十六日 晩嘉兵衛方千代蔵老人よび

十八日 昼後高屋村広瀬広徳寺入来ニ付参り久兵衛方

ニ而面会、竹小箸五十膳京へ頼ミ申候受取、代三百匁ト申

代銀取口ト不申かり来申候、高屋の鷲塚嘉右衛門方へ廻り

直ニ帰村

廿日 夜銀貳貫五百匁かり印証一札・茄子三十三両様共利吉

へ渡ス

岸水村次郎右衛門昼後來り、黒さと半斤□□次

同人持来ル、晩方引取り

廿七日 お春小嶋江返り送り、自分同道喜兵衛・せつ・自分ハ小嶋ニ泊り

廿八日 昼後の五左衛門同道、三国江行キ嶋加藤ニ而馳走ニ相成り

夕方野中へ五左衛門同道帰り泊り

廿□日 昼前小嶋を出、蛸八十島へ立寄馳走ニ相成り昼飯たべ晩帰村

八月一日 下総銚子宝満寺、江上へ行候ニ付御立寄

昼後の御法座江上へ参詣、御堂弥助方、宿坊ハ

与三右衛門方へ行、馳走ニ相成り夕飯たへ晩方帰村

老母病氣ニ付初夜御座不為帰村

二日 板垣迄行積りニ而出福致候所御坊所ニ而井上猪助ニ

逢頼垣板迄不行力村松へ行馳走ニ相成夕方帰村

三日 板垣叔母并猪助見へ泊り、母病氣見廻ニ来り、土産

として

(一一)

高二 四拾貳分

丑盆森

家ニ 三拾貳ニ三分

昼後猪助帰福、おば泊り、昼後野中小嶋へ行キ五左衛門方

家移り祝源太郎同道ニ而行キ三国十匁万寿札貳枚

菓子箱一右二品為土産持参

六日 昼後源太郎同道ニ而小嶋を出蛸村八十島へ立寄

桑酒貳合半斗り取帰村、代銀不遣

七日 昼後出福、村松へ行、同日山牧田方へ行、道具見ニ行キ

八日 又々朝飯後山蒔田へ行、道具見村松へ帰り

村松へ金平糖拾匁遣ス、夜分谷安へ行夫

よろづ町およつ方へ行馳走ニ成り酒札壱升およつへ

とらせ夜分村松へ帰り泊り

昼飯後帰村

九日 板垣おば帰り送、福井用旁喜兵衛行キ

同日蛸八十島来り、板垣おば喜兵衛同道出福

A005201419

(一一)

同日昼後利吉御頼ミ申ニ行キ母病中御咄ニ
夜分四ツ時御出見廻として菓子箱巻ツ被下
母〇銀式拾匁上ケいも五本・牛蒡巻わ此方〇
進之申候

十一日 昼前高木引取り

十二日 多蔵三国加藤へ銀借用ニ行、亀次郎福井江ぶど
買ニ行晩方帰村

十三日 野中お春・豊太郎同道ニ而母人病氣見舞ニ来り
供権七両人は昼飯後帰村

十五日 昼前岸水次郎右衛門方へ祭礼ニ行式匁ノさと箱一遣ス
夕方次郎兵衛同道帰村

十五日 昼後〇鷺塚嘉右衛門方へ祭礼ニ行、白さと箱一・酒吞猪口一
二品持参、高屋村角力ニ付次郎右衛門父子行キ夫ニ付夕飯不喰
帰村

〇日 □庄屋三右衛門持来り候配布之写

急度申遣候、一当年は順作之趣ニ付両御檢見共
御差出不被成候条村々左様相心得可被申候、且亦
前年被仰渡候御條目之義は村役中〇末々迄
□渡有之候旨可被致候、為其如此申遣者也

丑八月十七日 嶋田ニ右衛門印 平沢五市郎印
下領村々

廿二日 野中五左衛門出福ニ付立寄、但五三次子息卜兩人
銀拾匁土産物到来、昼飯たべ出福引取り

廿三日 祭客 岸水次郎右衛門 村松藤右衛門 太郎丸新左衛門新十郎子息
松たけ壱袋到来 菓子袋三匁斗 みやけなし

牧安
ねりやうかん一本五匁・早付木一ツ二品

(一二)

右おのおの惣泊り

廿四日 朝わし塚嘉右衛門来り、昼後皆〇引取り

廿五日 西くらこわち、多左衛門・次助・平次郎・藤七・文蔵〇五人
内昼後半人次助引キ、引テ四人半

およき糸崎へ見廻ニ行

廿六日 西蔵こわち仕廻人足多左衛門・次助・平次郎・藤七
文蔵〇五人外ニ喜兵衛老人、是は自分〇出ス
三国布多〇布長殿来り、但革改札として白さと
一袋六七匁斗到来

九月七日 三国へ行、田な五郎ニ而和助卜兩人酒吞昼飯たべ
払自分取かへ晩方兩人同道帰村

A005201419

九月十一日 出福、村松へ行き昼飯酒呑同日帰村、味噌漬・香物
大根式本・なすび二ツ持参

「」十二日 昼後安沢弥右衛門来り、酒札式升・白さと箱一ツ
持参到来、夕方帰村

□四日 朝〇豆打人足多藏・亀次郎・喜兵衛・くミ・勘介、昼後半人
弥三右衛門嫁昼後半人〰男女五人、此豆五表二納三斗也
京五升六合・小豆納式斗、是も同日同人足二而打

廿六日 出福、本町猪助方へ行候所留主、白さと三匁箱壱ツ家内へ遣ひ
わらし不脱、牧安へ行昼飯致し酒呑鯛のさし身・同煎身
にて酒呑、十五文ツ、之母せきどめ・田代丸薬五ふく牧安二而かり
同日夕方帰村

府中観光院様御一周忌二付廿八日御焼香被仰付配布
廿六日着

十月五日 亀次郎を以三國修助方へ銀返銀、晩方安沢弥右衛門方へ

自分金子返銀二行夕飯よばれ夜分帰村、万寿札七匁・酒札壱升
弥右衛門方へ持参

八日 岸水次郎右衛門方へ行夕方遅二帰村、さと箱壱ツ持参、帰りもち五ツ到来

十四日 大根引 たくわん大四百 葉付百本 山六百 干大根三十五本 大きくき三百本
十五日 大根あらひ多藏・亀次郎・くミ三人二而洗ひ

(二四)

十二月十四日 味噌煎、自分出福佐太郎

歯ぬき 本多源四郎様御用二付留守中

そろび豆六斗

塩豆二八割半

糘四斗 天管生〇取ル、壱升四匁五分立

ヲダイ糘 米納壱斗

大根四十壱本

十二月廿〇 「」庵積仕込

大根「」百本 当秋大根上作大上也

塩大根百二三升式参合斗

(二五)

十九日 昼前もり田十左衛門来り、昼飯たべ昼後同道江上次郎左衛門

娘もらひ一件二同所甚兵衛方迄行、次郎左衛門留守二付甚兵衛〇
直二引取り、長左衛門は夕方帰村

廿二日 もち米并うるやたう共□夕□多三・亀次郎・喜兵衛・くミ
もち米壱表ト納三斗、あら本京八升

うるやた納式斗、同あら本京八升

廿八日 出福、米善へ行き黒豆七合半持参牧安へ行昼飯たべ

酒なし飯斗り、夕方帰村、但平太夫同道二而

廿九日 九兵衛・長次郎よめ取朝およき壱人よはれ酒札壱升持参、昼迄多三壱人

□二よばれ酒札老升、価拾匁三四分位
昼後山室彦兵衛方へ行夕方帰村

同日 晩嘉兵衛報恩講ニ付自分・源太郎・おさと・おきよべ4人よばれ行

十四日 本多源四郎様御逢被成度申越候ニ付出福、村松着

夫の源四郎様御逢被成是迄銀子心配之御礼被仰

御前二而かねきん一反被下村松二而御酒被下、家久五兵衛

柳原甚兵衛・自分三人中間して大あま鯛三枚・大鱈式本

べ五品上ケ此割合老人前式拾七匁懸る、其夜村松二

泊り、十五日朝本町井上猪助方へ行き佐太郎まさりば抜キ

□来り、猪助方二而人を頼喜兵衛□遣しぬき来り、此代拾匁

夕方本町の帰村

廿四日 昼報恩講御相伴斗り嘉兵衛上分皆よひ候所嘉兵衛老人不来送り膳

弥三右衛門老人・多右衛門老人・仁兵衛方おミよ并二子共三人、仁兵衛へは送り膳 喜兵衛・おり

并子共

喜兵衛へは多三よばれ行候ニ付子共トおりト式人よび

十二月廿一日 昼清兵衛方へそば二よばれ夕方帰宅

廿七日 餅つき、もち米京三斗五升、うす取り利吉・搗喜兵衛

(一六)

丑正月廿三日 京都寺町今出川真如堂跡大宮町西田寺俊教泊り法話

同廿四日 昼後はり原九左衛門方迄引取り菓子料不出

二月廿四日 高木叔定寺御座泊り、布施式匁上ケ

三月十六日 古木村蓮光寺様泊り、御法話、御礼五匁上ケ

五月廿九日 広瀬村光徳寺様泊り、法話、露宿り一もらひ

家来老人連レ来り、礼拾匁上ケ家来江式匁遣ス

閏五月十一日 湯尾浄源寺泊り、法座、布施三匁上ケ沈香老袋被下

六月廿三日 田中専妙寺様泊り、御法話、侍者なし、老人高屋の御出迎

平次郎高屋迄

廿四日 専妙寺同道昼後岸水次郎右衛門迄案内旁参詣

七月九日 甌谷村万福寺新ふつ来り、俄二入来初而夜法座

泊り、沈香老袋持参此方の式匁上ケ

七月廿三日 新保専久寺所化共御出銀五匁上、所化江式匁

粗盃老ツ被下

□月□日 高木村叔定寺泊り、御法話、菓子代三匁上ケ